

大福帳

大福帳とは、出席票をかねた感想記入カードのことです。大福帳には、①学年、学籍番号、氏名欄、②授業回数分の学生用自由記述欄、③学生の自由記述に対する教員用コメント欄が印刷されています。学生が意見や感想を書きだけでなく、教員がそれに対するコメントを返すところに、大きな特徴があります。

科目名：微積分学及演習 I

担当者：小池正史 先生（工学部）

小池先生の授業では「自己チェックシート」という名前で用いられています。「自己チェックシート」は、A4版に15回分の講義の枠があり、毎回の講義終了後に「学習内容」と「質問・感想」を数行ずつ記入して提出するものです。

学生は、講義に対する率直な感想の他、わかりにくかった点や質問を記入します。シートは教員からのコメントつきで、次の講義の最初に返却を行います。

大人数の講義では、一人一人の様子（理解度）を掴むことが難しくなりますが、「自己チェックシート」を通して学生の生の声を確認することができ、授業の進行にも役立っているとのこと。

なによりも学生と教員との双方向のやり取りを可能とし、学生も一人一人見てもらえているという安心感を持って授業に臨むことができます。

No.	日付	氏名	コメント	教員コメント
1	2016年10月10日	氏名		
2	2016年10月17日	氏名		
3	2016年10月24日	氏名		
4	2016年10月31日	氏名		
5	2016年11月7日	氏名		
6	2016年11月14日	氏名		
7	2016年11月21日	氏名		
8	2016年11月28日	氏名		
9	2016年12月5日	氏名		
10	2016年12月12日	氏名		
11	2016年12月19日	氏名		
12	2016年12月26日	氏名		
13	2017年1月2日	氏名		
14	2017年1月9日	氏名		
15	2017年1月16日	氏名		

クリックして[拡大](#)

詳しくは小池雅子・小池正史（2013）「大学の学修への期待感を高めるための初年次物理基礎教育」『工学教育』第61巻第3号，85-89頁を参照。